

様式4

令和6年度第1回 富士見市障害者施策推進協議会議事録						
日 時	令和6年7月8日(月)		開会 午後1時30分 閉会 午後3時30分			
場 所	富士見市役所 全員協議会室					
出席者	委 員	小菅委員	田嶋委員	市川委員	小川委員	加藤委員
		○	欠	○	○	○
		木内委員	国分委員	小林委員	齊藤委員	高橋委員
		○	○	○	○	○
		鶴澤委員	長澤委員	橋本委員	細野委員	益子委員
		○	○	○	○	欠
		岡田委員	細貝委員			
	○	○				
事務局	障がい福祉課 (水口課長・加治副課長・小林主査・小川(愛)主任)					
公開・ 非公開	公開(傍聴者1名)					
議 題	1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 富士見市障害者施策推進協議会の役割について 5 議題 (1)会長・副会長の選任 (2)専門部会について (3)第6期富士見市障害者支援計画について (4)今期のスケジュールについて 6 その他 7 閉会					

議 事 内 容

(1) 会長・副会長の選任

委員の互選にて、会長は小菅委員、副会長は田嶋委員に決定。

※専門部会の部会長についても、前期と引き続き同様とする旨、委員より了承を得る。

(2) 専門部会について

部会長より、権利擁護・コミュニケーション部会、相談支援部会について、説明及び報告。

◇権利擁護・コミュニケーション部会について

委員(部会長) 会議は年3回行っている。当事者の声を大切にしたいと考えている。災害時に自主的に対応するための防災チラシの作成を行い、知的障がいの方を対象としたものを作成した。今後、障がい種別ごとの作成を行う予定。そのほか、避難行動の支援・インクルーシブ防災のありかたについて市の危機管理課からも現状を伺いながら、進めてきている経過がある。

◇相談支援部会について

委員(部会長) 会議は年3回行っている。専門チームが4つある(精神・児童・医療・就労)。それ以外に、児童発達支援、連絡会、事業所の人材育成を行っている。昨年度は第6期の障がい者支援計画のことを話し合った。また、地域生活支援拠点について、障がい児者の居住支援のための機関など、地域の実情に応じたサービスの提供を行っている。例えば、子に障がいがあつて急に親が入院した時にどう対応するか協議を行う場として、児童のチームで検討をしている。

会長: 就労チームについての補足。普通校の特別支援級を卒業し、普通高校へ進学、または一般就職をする子がいる。福祉の目が届きにくく、何か不都合があつたときに対応が難しいことなどを話し合っている。

(3) 第6期富士見市障がい者支援計画について

【概要について】

各施策について、新規のもの、拡充したものなどについて、事務局より説明。

【基幹相談支援センターの運営について】

業務内容と実績などについて、当センターより報告。お家へ帰ろうプロジェクト、医療的ケア児をもつ保護者が休息するための取組について説明。

(4) 今季のスケジュールについて

事務局より説明。

(5) その他

◇あいサポート運動 10周年イベントを12月に開催予定。

◇デフリンピックの機運醸成についての協力依頼。

◇(株)恵が運営するグループホームの現状について